

2025年1月30日

「Yakult（ヤクルト）1000 糖質オフ」を 機能性表示食品として発売

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、乳製品乳酸菌飲料「Yakult（ヤクルト）1000 糖質オフ」を2025年3月3日に「機能性表示食品」として発売します。

「Yakult1000 糖質オフ」は、2024年11月1日に関東1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）で発売し、お客さまから好評を得て、2025年1月6日に販売地区を全国に拡大しました。このたび、機能性表示食品の届出が受理されたことに伴い、「Yakult1000 糖質オフ」の容器（単品・マルチパック）に機能性表示食品に関する表示を行うとともに、「Yakult1000」に比べてカロリー32%オフ、糖類44%オフであることをわかりやすく訴求しています。

本品は、「乳酸菌 シロタ株」を含む機能性表示食品で、「乳酸菌 シロタ株」には、一時的な精神的ストレスがかかる状況での「ストレス緩和」「睡眠の質^{*}向上」の機能があることが報告されています。さらに、「乳酸菌 シロタ株」には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

なお、「Yakult1000 糖質オフ」の2025年4月から2026年3月までの販売目標は1日あたり1,350千本です。

※ 睡眠の質とは、眠りの深さ、すっきりとした目覚めのことを指します。



【商品特長】

- ヤクルト独自の「乳酸菌 シロタ株」が1本（100ml）に1,000億個含まれています。
- 「Yakult1000」の基本設計をベースに、カロリーを32%、糖類を44%低減し、より甘さを控えています。
- 「乳酸菌 シロタ株」が機能性関与成分の機能性表示食品です。（届出番号：J728）

<届出表示>

本品には乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) が含まれます。乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) には、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげる機能や睡眠の質 (眠りの深さ、すっきりとした目覚め) を高める機能があることが報告されています。さらに、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

- ・本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- ・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- ・多量に摂取することにより、疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

◆商品情報

- ・商品名： Yakult (ヤクルト) 1000 糖質オフ
- ・商品分類： 乳製品乳酸菌飲料
- ・容量： 100ml/本
- ・希望小売価格： 130円/本、910円/7本パック (いずれも税別)
- ・販売チャネル： ヤクルトレディによる訪問販売

以上

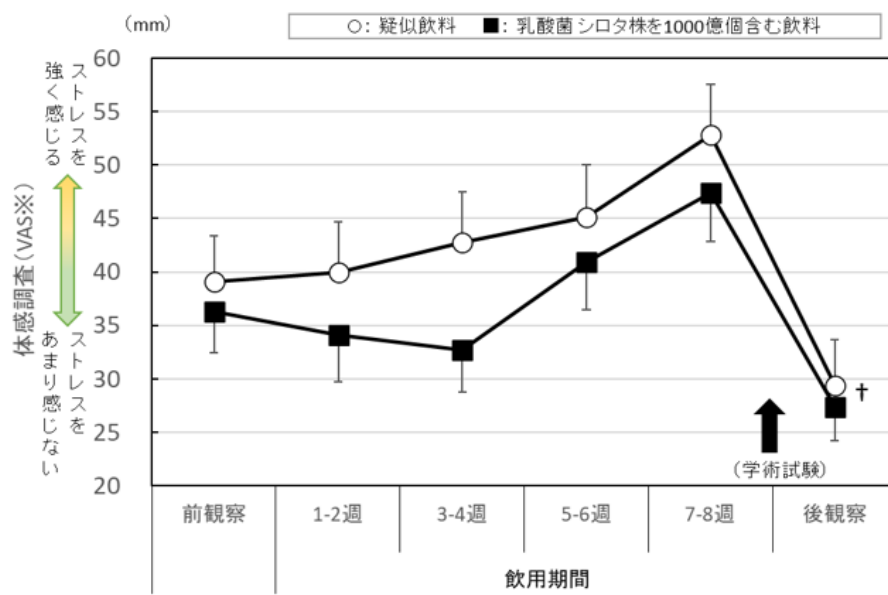
<参考資料1：「ストレス緩和」作用について>

【ストレスの体感】

1. 進級に重要な学術試験を受験する4年次の健常な医学部生の男女を2群に分け、被験食群には「乳酸菌 シロタ株を1,000億個含む飲料」を、対照群には疑似飲料（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を1日1本（100ml）、学術試験の8週間前から飲用してもらいました。
2. その結果、ストレス体感調査（VAS*）において、被験食群では対照群と比較して有意に低い値を示しました（対象者47名）。

※ Visual Analog Scale：視覚的アナログ尺度

長さ100mmの黒い直線の左端が「ストレスがまったくなかった（0mm）」、右端が「耐えられないほど強いストレスを感じた（100mm）」とし、評価対象の週にどの程度ストレスを感じたか、該当する箇所に印を付けてもらいました。



平均±標準誤差

+ : $p < 0.05$ 、二元配置分散分析

<出典>

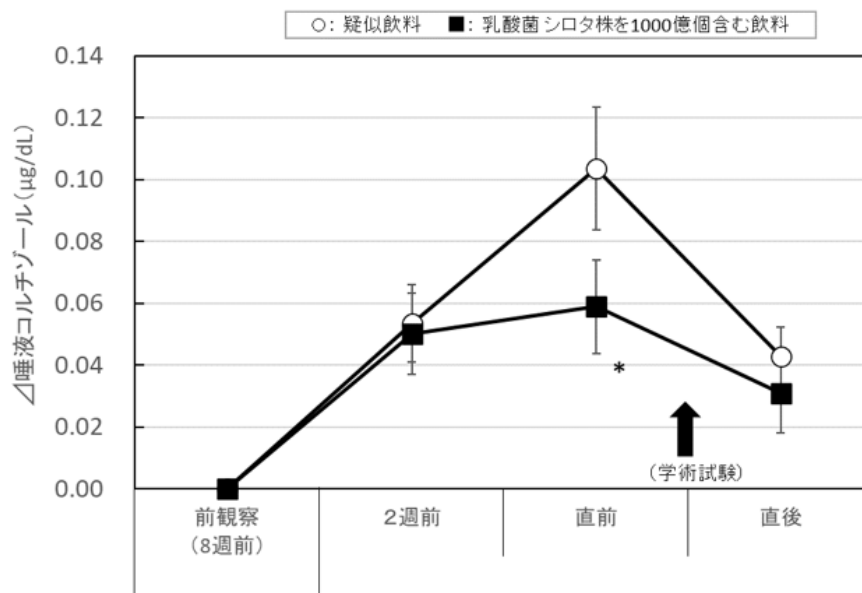
A. Kato-Kataoka et al. Fermented Milk Containing *Lactobacillus casei* Strain Shirota Preserves the Diversity of the Gut Microbiota and Relieves Abdominal Dysfunction in Healthy Medical Students Exposed to Academic Stress. Applied and Environmental Microbiology. 2016, 82(12), 3649-3658.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

【唾液コルチゾール】

1. 進級に重要な学術試験を受験する4年次の健常な医学部生の男女を2群に分け、被験食群には「乳酸菌 シロタ株を1,000億個含む飲料」を、対照群には疑似飲料を1日1本（100ml）、学術試験の8週間前から飲用してもらう試験を3年度にわたり実施し、その3試験のデータを取りまとめて解析（対象者140名）を行いました。
2. その結果、被験食群では対照群と比較して、ストレス下で増加することが報告されている唾液中コルチゾール濃度の上昇が学術試験の直前に有意に抑制されました。



平均±標準誤差

* : $p < 0.05$ 、多重性を調整した t 検定

<出典>

M. Takada et al. Probiotic *Lactobacillus casei* strain Shirota relieves stress-associated symptoms by modulating the gut-brain interaction in human and animal models. *Neurogastroenterology & Motility*. 2016, 28, 1027-1036.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

<参考資料2：「睡眠の質向上」作用について>

【睡眠の質向上（眠りの深さ、すっきりとした目覚め）】

1. 進級に重要な学術試験を受験する4年次の健常な医学部生の男女を2群に分け、被験食群には「乳酸菌 シロタ株を1,000億個含む飲料」を、対照群には疑似飲料を1日1本（100ml）、学術試験の8週間前から試験終了後3週間まで飲用してもらう試験を2年度に渡り実施し、その2試験のデータを取りまとめて解析（対象者94名）を行いました。
2. その結果、脳波の測定による評価において、被験食群では対照群と比較して、熟眠（深い眠り）時間を示す指標（ノンレムステージ3の睡眠時間^{※1}）と熟眠度を示す指標（第一周期のデルタパワー^{※2}）に有意な増加が認められました。
3. OSA 睡眠調査票 MA 版^{※3}による眠りの評価において、被験食群では対照群と比較して、「起床時眠気（すっきりとした目覚め）」を示すスコアに有意な改善が認められました。

※1 ノンレムステージ3の睡眠時間

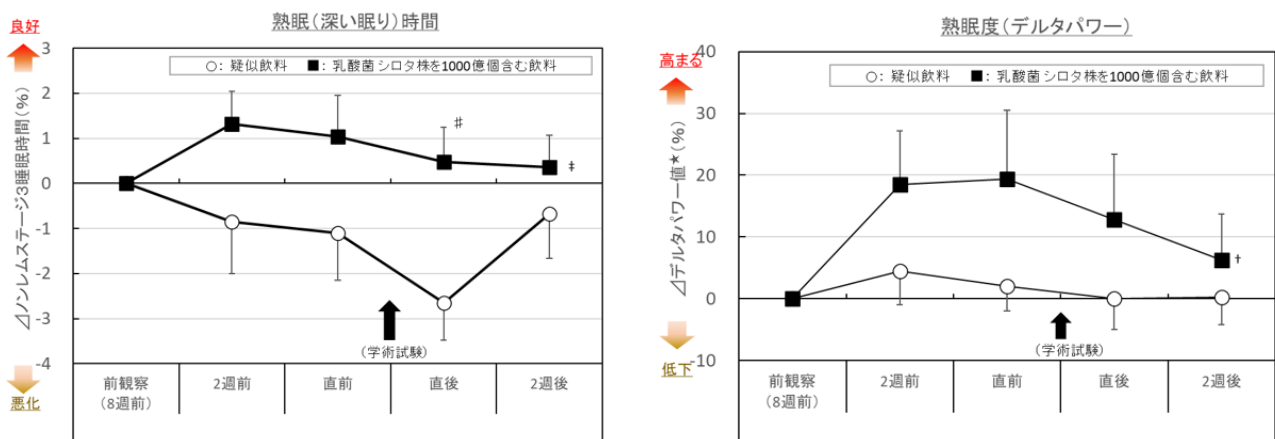
ノンレム睡眠を3段階（ノンレムステージ）に分類したときの最も深い眠りの段階（ステージ3）の時間を示しています。

※2 第一周期のデルタパワー

周波数帯域が4Hz未満のゆっくりした脳波はデルタ波と呼ばれ、第一周期の深い睡眠時に多く出現することから、その量（デルタパワー）は熟眠度の指標とされています。

※3 OSA 睡眠調査票 MA 版

主観的な睡眠感を評価する調査票

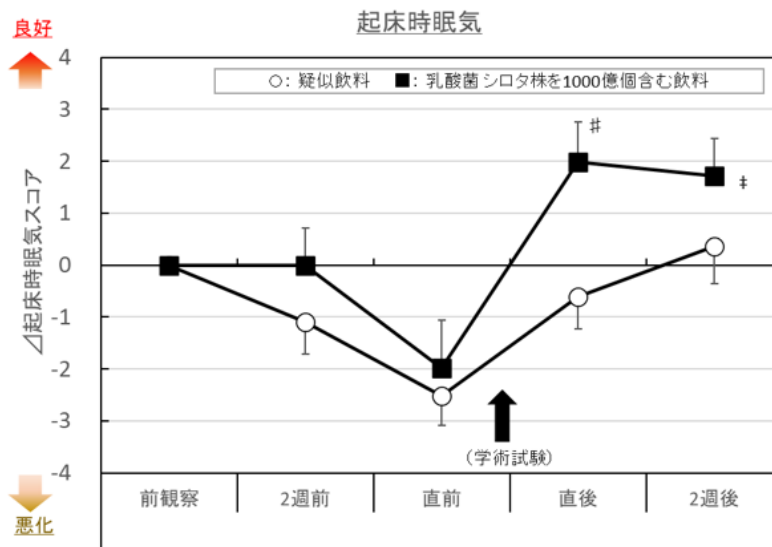


平均±標準誤差

†, ‡ : $p < 0.05$, $p < 0.01$ 、二元配置分散分析

: $p < 0.05$ 、時点での差、ボンフェローニ補正したt検定

★ : 第1周期の1分あたりのデルタパワー ($\mu V^2/min$) から算出



平均±標準誤差

‡ : $p < 0.01$, 反復測定共分散分析

: $p < 0.05$, 時点での差、ボンフェローニ補正した t 検定

<出典>

M. Takada et al. Beneficial effects of *Lactobacillus casei* strain Shirota on academic stress-induced sleep disturbance in healthy adults: a double-blind, randomized, placebo-controlled trial. Beneficial Microbes. 2017, 8(2), 153-162.

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のデータを提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。